

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 7 月 5 日(2022.7.5)

【公開番号】特開 2021-3470(P2021-3470A)
【公開日】令和 3 年 1 月 14 日(2021.1.14)
【年通号数】公開・登録公報 2021-002
【出願番号】特願 2019-119732(P2019-119732)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

20

本発明は、上記の課題を解決するために以下の構成を採用した。

本発明に係る遊技機は、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段の判定結果に基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、演出を実
行する演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、変動演出と、前記変動演出中にお
ける複数のタイミングにて実行可能な所定演出と、を実行可能であり、所定演出の実行タ
イミングによって前記特別遊技が実行される期待度が異なり、前記変動演出には、第 1 演
出と、第 1 演出よりも前記特別遊技が実行される期待度が高い第 2 演出と、前記変動演出
中において前記特別遊技が実行されないこと示す態様で図柄を表示する第 3 演出と、があ
り、前記変動演出の演出パターンには、第 1 演出を実行した後に第 2 演出も第 3 演出も実
行しない第 1 演出パターンと、第 1 演出を実行した後に第 2 演出を実行し、その後第 3 演
出を実行しない第 2 演出パターンと、第 1 演出を実行した後に第 2 演出を実行し、その後
第 3 演出を実行する第 3 演出パターンと、があり、第 1 演出中に所定演出が実行された場
合、前記特別遊技が実行される期待度が相対的に高いことを示唆し、第 3 演出を実行した
後に所定演出が実行された場合、前記特別遊技が実行されることを示唆し、第 1 演出中に
所定演出が実行された場合の方が、第 1 演出中に所定演出が実行されない場合よりも、第
1 演出から第 2 演出に発展する割合が高い。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

40

遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段の判定結果に基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、
演出を実行する演出制御手段と、を備え、
前記演出制御手段は、変動演出と、前記変動演出中における複数のタイミングにて実行可
能な所定演出と、を実行可能であり、
所定演出の実行タイミングによって前記特別遊技が実行される期待度が異なり、

50

前記変動演出には、第1演出と、第1演出よりも前記特別遊技が実行される期待度が高い第2演出と、前記変動演出中において前記特別遊技が実行されないこと示す態様で図柄を表示する第3演出と、があり、
前記変動演出の演出パターンには、
第1演出を実行した後に第2演出も第3演出も実行しない第1演出パターンと、
第1演出を実行した後に第2演出を実行し、その後第3演出を実行しない第2演出パターンと、
第1演出を実行した後に第2演出を実行し、その後第3演出を実行する第3演出パターンと、があり、
第1演出中に所定演出が実行された場合、前記特別遊技が実行される期待度が相対的に高いことを示唆し、
第3演出を実行した後に所定演出が実行された場合、前記特別遊技が実行されることを示唆し、
第1演出中に所定演出が実行された場合の方が、第1演出中に所定演出が実行されない場合よりも、第1演出から第2演出に発展する割合が高い、遊技機。

10

20

30

40

50